



# 商 団 連

第 3 5 4 号

令和4年8月1日

発行所

全国卸商業団地協同組合連合会  
東京都港区赤坂5-1-31  
第6セイコービル4階  
電話03-6807-4335  
編集発行人 原田 芳憲

## 第55回通常総会を開催

### 役員任期満了に伴い福井会長を再選

商団連の令和4年度通常総会（第55回）が、さる6月23日（木）ホテルニューオータニ「悠の間」において、午後1時30分から、会員95名（本人出席50名、委任状出席45名）が出席して開催されました。

はじめに、福井会長から「日本経済を取り巻く環境は日に日に厳しさを増している状況にある。卸商業団地が引き続き地域経済の拠点として、発展・繁栄していくためには、人と情報の行き交う魅力ある場所として、卸商業団地自らが活性化を図っていくことが重要となっている。商団連が将来を見据えて、会員皆様との「絆」を一層強め、緊密な連携のもと、卸商業団地の更なる発展のために、引き続きその役割を果たして参りたい」と開会の挨拶が行われました。

引き続きご臨席いただいたご来賓が、中小企業庁の角野然生長官、独立行政法人中小企業基盤整備機構の豊永厚志理事長、株式会社商工組合中央金庫の関根正裕社長、住友生命保険相互会社の小松史彦常務執行役員の順に挨拶されました。その後、全国卸商業団地対策議員懇話会の細田博之会長（衆議院議長）の祝電が披露されました。



冒頭、挨拶する福井会長



会場の様子



中小企業庁 角野長官



中小機構 豊永理事長



商工中金 関根社長



住友生命 小松常務執行役員

ご来賓の挨拶、祝電紹介の後、福井会長を議長に選出し、議案の進行に移りました。

第1号議案の令和3年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書及び剰余金処分（案）については承認を求める件は、伊藤専務理事より原案の説明が行われたのち、藤木監事（協）下館綜合卸センター）から、令和3年度決算関係書類及び業務について監査した結果、財産管理・収支の処理・予算の執行・業務についていずれも妥当と認められる旨報告があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認されました。

第2号議案の令和4年度事業計画（案）・収支予算（案）について承認を求める件、第3号議案の令和4年度経費の賦課金徴収（案）について承認を求める件、第4号議案の役員報酬について承認を求める件、第5号議案の借入金残高の最高限度額の承認を求める件の4議案が一括上程され、伊藤専務理事が内容を説明し、審議された結果、いずれも原案どおり承認されました。

第6号議案の定款変更について承認を求める件は、伊藤専務理事が内容を説明し、審議された結果、原案どおり承認されました。

第7号議案の理事・監事任期満了につき選任の件については、議長が選考方法を議場に諮ったところ、満場一致で選考委員による指名推薦の方法で行うことになり、各ブロックを代表する選考委員が選ばれました。その後、別室において選考委員会が開かれ、その結果について、小正芳史選考委員長（鹿児島総合卸商業団地（協））から委任を受けた原田事務局長が選考候補者を報告しました。議長が選考候補者について議場に諮ったところ、満場一致で承認されました。そのあと、新役員による理事会が開催され、新三役の選任が行われました。

以上をもちまして、議案審議は終了し、通常総会は閉会となりました。

**講演会 筑波大学 名誉教授 中村逸郎 氏**

**演題 「ウクライナをめぐるロシアの思惑と世界経済の行方について」**

通常総会終了後、午後3時20分から、筑波大学名誉教授中村逸郎氏による「ウクライナをめぐるロシアの思惑と世界経済の行方について」という演題で講演会が行われました。中村名誉教授はテレビ出演も多く、ロシア専門家として著名な方と知られています。



筑波大学 名誉教授 中村逸郎 氏

中村名誉教授は「侵攻しているロシア経済の疲弊、国民の反発もあり、戦争自体は長期化しないだろう。但しロシアに対する欧米の制裁(経済戦争)は10年間継続する見通しであり、ロシア経済は一層疲弊していくだろう」と解説されました。

出席者からは、足元で行われているロシアのウクライナ侵攻による影響について専門家から話が聞け、「興味深く講演を聞くことが出来た」、「(侵攻には)歴史的・文化的な背景があり、なかなか難しい問題」という感想がありました。



北 新理事

今野 新監事

講演会終了後、会場を「翔の間」に移し、懇親会が行われました。今回は新型コロナウイルス拡散防止のため、参加者を会員組合の皆様限定し、感染対策を施しての開催となりました。

福井弘会長の開宴挨拶の後、田中善一副会長((協)仙台卸商センター)の発声により乾杯が行われました。歓談の途中で、本総会で新たに役員に選出されました北哲也理事((協)徳島総合流通センター)、今野高監事(員外)の挨拶が行われ、続いて本総会で役員を退任された町田貴前理事((協)高

知卸商センター)、猪瀬安次前監事(員外)に感謝状と慰労金が、栗原眞前参事(専従)に感謝状がそれぞれ贈呈され、あわせて退任の挨拶が行われました。

和やかな歓談の後、高桑幸一副会長((協)金沢問屋センター)の締めで閉会となりました。



町田 前理事

猪瀬 前監事

栗原 前参事

**臨時理事会で三役を選出**

総会で新たに選出された理事により、臨時の理事会を開催し、三役の選任について協議を行いました。その結果、会長に福井弘氏、副会長に田中善一氏、夏目潔氏、高桑幸一氏、吉木学氏、小正芳史氏、専務理事に伊藤三郎氏がそれぞれ再任されました。

**○令和4年度の新役員の皆様**

(敬称略)

	組合名	氏名	備考		組合名	氏名	備考
会長	(協)ペイタウン尾道	福井 弘	再任	理事	(協)浜松卸商センター	中村 泰平	再任
副会長	(協)仙台卸商センター	田中 善一	再任	〃	(協)一宮繊維卸センター	佐々木 久直	再任
〃	(協)長野アークス	夏目 潔	再任	〃	大阪船場繊維卸商団地(協)	俣野 富美雄	再任
〃	(協)金沢問屋センター	高桑 幸一	再任	〃	(協)大阪紙文具流通センター	堀 隆	再任
〃	(協)新大阪センイシティ	吉木 学	再任	〃	(協)米子総合卸センター	松本 啓	再任
〃	鹿児島総合卸商業団地(協)	小正 芳史	再任	〃	(協)松江流通センター	秀浦 義久	再任
専務理事	全国卸商業団地協同組合連合会	伊藤 三郎	再任	〃	(協)柳井総合卸センター	河野 和明	再任
理 事	(協)札幌総合卸センター	守 和彦	再任	〃	(協)徳島総合流通センター	北 哲也	新任
〃	(協)八戸総合卸センター	川崎 益美	再任	〃	(協)福岡卸センター	百田 篤	再任
〃	(協)盛岡卸センター	藤村 文昭	再任	〃	佐世保卸団地(協)	橘高 克和	再任
〃	高崎卸商社街(協)	杉浦 幸男	再任	監事	(協)秋田卸センター	辻 昭久	再任
〃	(協)川越バンテアン	小谷野 和博	再任	〃	(協)下館総合卸センター	藤木 章吉	再任
〃	(協)横浜マチャダ・イゾングセンター	木村 仁	再任	〃	員外	今野 高	新任
〃	(協)山梨県流通センター	栗山 直樹	再任				

## 組合代表者、事務局担当者の皆様の交代

(注)当連合会宛てのご報告分を掲載しています。(令和4年7月1日現在)

会員組合の皆様の令和4年度通常総会が終了し、理事長及び事務局に一部変更がありました。変更の皆様は以下のとおりです。ご紹介します。

引き続きよろしくお祈いします！

### 【理事長の皆様の交代】

(敬称略)

組合名	前理事長	新理事長	会社名
(協) 帯広卸売センター	横川 真和	高田 晃一	(株) 高田菊次郎商店
(協) 米沢総合卸売センター	前山 健二	坂下 良行	(株) シグマ
宇都宮卸商業団地 (協)	羽石 光臣	瓦井 成	光機材 (株)
(協) 神戸船用品センター	門脇 嘉弘	伊藤 喜久生	相洋交易 (株)
(協) 鳥取卸センター	手石 幸洋	渡邊 健次	えびす本郷 (株)
(協) 徳島総合流通センター	美馬 秀夫	北 哲也	(株) 北光社
(協) 松山卸商センター	河野 嘉宏	渡邊 悟	(株) マツハイヤ
沖縄県卸商業団地 (協)	池原 一則	平良 秀樹	(株) イバノ

### 【事務局の皆様の交代】

(敬称略)

組合名	前担当者	新担当者
(協) 青森総合卸センター	専務理事 藤本 和夫	専務理事 赤坂 晃
(協) 仙台卸商センター	専務理事 武田 要二	専務理事 高橋 伸
(協) 前橋問屋センター	専務理事 沼賀 良宏	事務局長 伊與久 隆浩
大阪機械卸業団地 (協)	専務理事 杉立 敏幸	専務理事 矢倉 正裕
(協) 呉食料品卸センター	事務局長 松本 伸一郎	事務局長 面林 仁司
(協) 三次総合卸センター	事務局長 田中 克典	専務理事 小田 裕司
(協) 徳島総合流通センター	専務理事 藤原 公	専務理事 桑内 光博
高知卸商センター (協)	専務理事 田村 秀人	理事・事務局長 畑山 茂
(協) 延岡卸商業センター	事務局長 尾前 光三郎	事務局長 日高 弘喜

## 令和3年度新春トップセミナー(Web)の開催

講師: 商工中金 常務執行役員 本幡克哉氏

令和4年1月18日(火)、令和3年度新春トップセミナーが2年ぶりに開催されました。当初はメルパルク東京にて、新年賀詞交歓会と併せての開催を予定していましたが、年末年始にかけ、新型コロナウイルス変異株の感染が急拡大したことを受け、急遽、皆様参集しての新年賀詞交歓会は中止とし、Webに変更しての開催となりました。

セミナー冒頭で、主催者を代表して福井会長から年頭の挨拶が行われました。福井会長は、「コロナ禍で経営環境は大きく変わった。感染状況は刻々と変わり、今後もWithコロナでの舵取りが必要となる可能性がある。また、半導体不足や原油を始めとする原材料価格の高騰、急激な円安等により、卸売業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。そうした環境下、地域経済の中核的役割を果たしている皆様の果たす役割は極めて大きい。また多くの卸商業団地は設立から半世紀を迎え、足元に多くの課題を抱えている。商団連を各団地の課題解決のためにお役立ていただきたい」と挨拶されました。

新春トップセミナーは、株式会社商工組合中央金庫常務執行役員兼産業調査部長の本幡克哉氏による「日本経済の現状と将来展望」と題する演題で講演が行われ、日本銀行勤務時代の経験等を踏まえて、コロナ禍で著しく変化している国内外の経済動向につき、わかり易い説明が行われました。



挨拶する福井会長



(講師)商工中金本幡常務執行役員



リモート参加の皆様

# 令和4年度第1回事務局長会の開催(東京)

去る4月7日(木) ホテルメルパルク東京において、令和4年度第1回商団連事務局長会が3年振りに開催されました。当初は3月2日(水)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、1ヶ月遅らせての開催となりました。

今回は会場参加・オンライン参加の併用(ハイブリッド開催)という開催形式となり、61団地64名が参加しての開催となりました(うち35団地38名が会場に会場、26団地26名がオンライン参加)。

来賓として、中小企業庁経営支援部商業課山岡寛課長補佐、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部高度化事業企画課小峯利彦課長代理、株式会社商工組合中央金庫融資第二部奥直久上席クレジットオフィサー、馬場正幸クレジットオフィサー、オブザーバーとして、住友生命保険相互会社総合型基金営業室公法人部寺田学室長、鬼木隆渉外部長の皆様にご参加いただきました。

午前の部では、蔦永代表世話人((協)ベイトウン尾道)の挨拶、今回初参加のメンバーの紹介の後、全員協議会が行われました。

全員協議会の審議内容は、令和3年度事業及び収支報告(速報)、令和4年度事業計画案並びに収支予算案、令和4年度会費徴収案が審議されいずれも原案どおり承認されました。その後、商団連事務局長会世話人及び監事の改選が行われました。なお、代表世話人については、一部地区で世話人の交代が見込まれることから、令和4年9月開催の第2回事務局長会議(長野)の全員協議会で改めて選出することとなりました。

全員協議会終了後、各機関から施策について説明が行われ、続けて商団連事務局から情報の伝達が行われました。内容については以下のとおりとなっています。



挨拶する蔦永代表世話人



会場の様子



リモート参加の皆様

## ○関係機関の施策内容および商団連事務局からの報告内容

中小企業庁	商店街・中心市街地活性化支援施策について
中小企業基盤整備機構	高度化事業のご案内
商工中金	危機対応融資(新型コロナウイルス感染症特別貸付)、幸せデザインサーベイ、ESG診断
商団連事務局	商団連グループ保険、3大疾病グループ保険、卸商業団地機能向上支援事業、事業環境変化型支援事業(インボイス)、制度改正等の課題解決環境整備事業(旧専門家派遣等事業)、商団連会員サポートセンター、今後のスケジュール

午後の部では、令和5年10月制度導入が決定している「消費税インボイス制度」、併せて「電子帳簿保存法」について、税理士法人コスモ・アソシエイツの成田智史税理士によるセミナーが行われました。

セミナー終了後に、会員組合の事例発表(卸商業団地機能向上支援事業)が以下のとおり行われ、続けて「会員組合のDX・IT推進」の調査結果について、商団連事務局から報告が行われました。

## ○会員組合の事例発表

(敬称略)



リモートで説明の村松専務理事

(協)盛岡卸センター 専務理事 村松 孝夫	団地内街路灯再整備LED化等 調査研究事業
(協)ベイトウン尾道 専務理事 蔦永 英明	災害に強く活力ある団地の形成

## 令和4年度 卸商業団地機能向上支援事業

### 『8組合の採択決定』及び『二次公募』のお知らせ

「卸商業団地機能向上支援事業通信12号(令和4年7月1日付)」でお知らせしておりますが、令和元年度から取扱いを始めた「卸商業団地機能向上支援事業」の令和4年度分につきましては、3月28日(月)から4月15日(金)まで公募受付を行い、6月10日(金)商団連会議室において選考委員会が開催され、8組合が採択されました。8組合の皆様及び事業テーマは以下のとおりです(商団連ホームページに掲載中です)。

なお、本事業の事業期限(令和6年3月末)に合わせ、今年度の二次公募を以下のとおり行うこととしています。是非ご活用ください。



選考委員会の様子

### 令和4年度の採択結果

組合名	テーマ
協同組合米沢総合卸売センター	流通団地再整備に向けた持続可能な組合運営を可能とする取り組みについて
会津若松卸商団地協同組合	①共同事業機能強化策として組合会館の既存施設を活用した貸会場増設等に係る調査・研究 ②組合および組合員の資産等を活用した再生可能エネルギー(太陽光発電)導入に係る調査・研究
宇都宮卸商業団地協同組合	組合ビジョンと連動した組合会館リノベーション事業化計画の策定
協同組合静岡流通センター	静岡流通センター組合ビジョン策定に向けた調査研究
協同組合金沢問屋センター	金沢流通会館の維持管理や今後の組合運営に関する調査
大阪船場繊維卸商団地協同組合	「まちづくり組織」と「ガーデンインフラ整備」の詳細設計策定
協同組合鳥取卸センター	SDGsを原動力にサステナブルで魅力ある商栄団地へ
協同組合徳島総合流通センター	地域における団地の価値向上施策の調査・研究

### 令和4年度二次公募のスケジュール

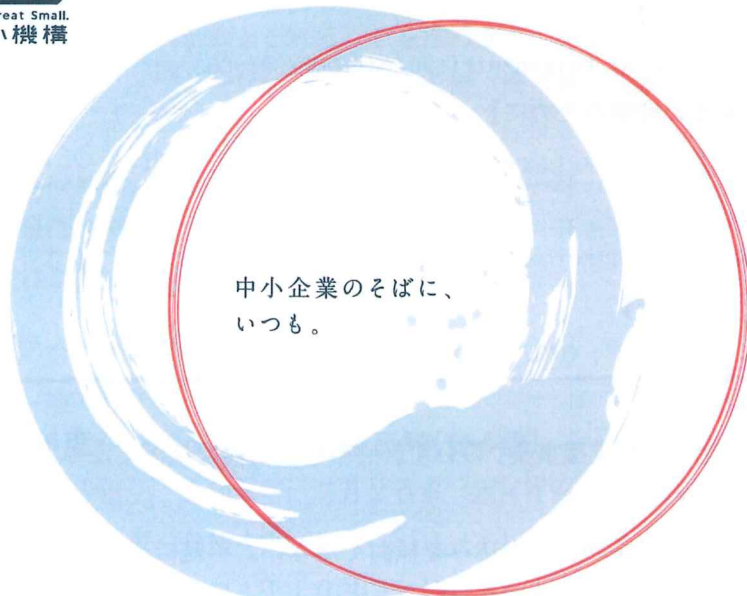
○公募受付期間 9月5日(月)～9月16日(金)(当日消印有効)

○選考結果通知 10月中旬頃

○助成金交付申請等説明会(YouTubeによるオンデマンド配信) 10月下旬頃

公募要領及び応募書類様式は、8月1日(月)以降、商団連ホームページからダウンロードをしてください。また、公募説明会(YouTubeによるオンデマンド配信)も商団連ホームページから視聴ができます。

以上については、別途ご案内いたします。ご不明な点等がありましたら商団連事務局(伊藤、吉澤)までお問い合わせください。



経営者ならではの悩みを、  
相談できる場所があります。

経営安定化 / 組織改善 / デジタル化 のご相談に。

独立行政法人中小企業基盤整備機構

東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

<https://www.smrj.go.jp/>

中小機構

検索



## 制度改正等の課題解決環境整備事業 (旧専門家派遣等事業)の実施について

今年度も実施しています!!

令和4年度も前年度に引き続き、「制度改正等の課題解決環境整備事業(旧専門家派遣等事業)」を実施しています。なお、令和3年度は12件の利用がありました。

本事業は、経済産業省から「中小企業連携組織対策推進事業費補助金」を受け、商団連が、会員組合の様々な課題を解決し、適正な事業活動ができる環境を整備するため、専門家を派遣し、講習会を開催する等の費用を支援するものです。

過年度に、本事業を利用された会員組合の皆様は、事業承継、災害対策・BCP、働き方改革、労働問題(ハラスメント対応)、女性活用、DX・IT活用等多岐にわたる分野で活用されています。

組合で、課題解決のため、専門家を招き、講習会等の実施を予定している場合は是非ご利用の検討をお願いします。

今年度の当初申込期限を6月30日(木)に設定しておりましたが、まだ予算枠に余裕がございます。制度を利用される場合は早めのお申込みをお願いします。

## 事業環境変化対応型支援事業 (通称 インボイス制度の導入支援)の実施について

今年度始めました !!

会員の皆様には、4商団連発第11号(令和4年4月8日)でお知らせしておりますが、商団連では、経済産業省より「事業環境変化対応型支援事業費補助金」を受けて、令和5年10月から開始を予定しております「消費税の適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)」の周知を図るための支援を行っています。

会員組合の皆様が、所属組合員に対し、インボイス制度の周知・広報事業を行うために、講師(税理士等)を招き、講習会等(含む個別相談)の開催を行うものにつき、商団連が支援するものです。費用の大部分が補助となります。

また、商団連から、講師(税理士等)の派遣も行っておりますし、オンライン(Web)での開催も可能となっております。

4月の申込開始以来、既に23組合からのお申込みがございます。経済産業省の補助金を活用する関係で予算に上限があり、先着順で受け付けておりますが、まだ予算枠に余裕がございます。制度を利用される場合は早めのお申込みをお願いします。

### (参考)登録申請開始に関する会員事業者へのご案内

国税庁ホームページの「インボイス制度特設サイト」内に「適格請求書発行事業者」の登録申請手続きが掲載されています。

同サイト内には、事業者の方の制度理解に資する資料や国税庁・税務署が主催するどなたでも参加可能な説明会のご案内等も掲載されています。また、一般的なご質問を受け付けるフリーダイヤルも開設されています。

【国税庁 インボイス制度特設サイト】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

【国税庁 知っていますか?インボイス制度(リーフレット)】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0022001-063.pdf>

【国税庁 適格請求書等保存方式の概要 インボイス制度の理解のために】

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/pdf/0020006-027.pdf>

【国税庁 適格請求書等保存方式に関するQ&A】

[https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/qa\\_01.htm](https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/qa_01.htm)

【国税庁 消費税軽減税率・インボイス制度電話相談センター】

0120-205-553 (無料) 【受付時間】9:00~17:00 (土日祝除く)

## 商団連事務局から(お願い)

「制度改正等の課題解決環境整備事業」、「事業環境変化対応型支援事業」のいずれも申込可能な状況となっております(令和4年7月19日現在)。会員組合の皆様はお申込みを検討ください。

特に、今まで当制度を利用したことのない会員組合の皆様は是非、お申込みを検討ください。手続きにつきましては、商団連事務局でサポートをさせていただきます。何なりと相談ください。宜しく申し上げます。

(お問い合わせ先 商団連事務局 原田)

## 中小機構からのお知らせ① ～BCPのはじめの一步 事業継続力強化計画のご案内～

つつい後回しになってしまう自然災害、感染症等の備え…。

しかし、自然災害等の不測の事態が生じて事業活動を継続する、もしくは中断しても速やかに復旧することが、取引先からも、さらには地域社会からも求められています。

そこでBCP（事業継続計画）のはじめの一步として、中小機構が策定をおススメしている「事業継続力強化計画（通称：ジギョケイ）」をご紹介します。

事業継続力強化計画は、災害等のリスクをハザードマップ等で確認し、事業活動への影響を把握し、災害等が発生した場合の対応手順や対策等についてA4用紙にすると5頁程度で作成するものです。

中小機構では、経営資源の融通や代替生産等の観点から複数企業による「連携事業継続力強化計画」の策定を推進しており、専門家を無料で派遣し、中小企業の状況にあわせ、寄り添い、計画策定をサポートします。なお個別企業の計画策定も同様に無料で支援しています。

策定した計画を国に申請し、認定を受けると、認定ロゴマークを使用できます。最近では、自社のホームページや名刺に掲載し、取引先等にアピールする認定事業者も増えています。また金融・税制面等において各種優遇措置を受けることも可能です。

こうした計画認定のメリットや計画策定をサポートする支援メニューは、ポータルサイト「BCPのはじめの一步 事業継続力強化計画をつくらう！」で事例も交えてご紹介していますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせは、中小機構災害対策支援部（担当：佐藤 03-6459-0042 又は [kyoujinka@smrj.go.jp](mailto:kyoujinka@smrj.go.jp)）までご連絡ください。



ポータルサイト  
QRコード

## 中小機構からのお知らせ② ～「令和4年度中小企業強靱シンポジウム(オンライン)」のご案内～

近年大規模な自然災害や感染症のリスクが顕在化するなど、中小企業や小規模事業者の皆さんの経営環境が急速に変化しています。中小機構では、事業者の皆さまの事業活動を継続する能力の強化（強靱化）を支援するため、本シンポジウムを開催いたします。なお本シンポジウムは商団連も「後援団体」となっています。

令和4年度は「経営戦略としてBCPを作ろう！」をテーマに、災害対策に留まらないBCP作成の意味を改めて考えていきます。過去に被災した経験のある4つの街（熊本県人吉市、宮城県気仙沼市、兵庫県神戸市、福島県）から、7月、9月、10月、3月に、全国へライブでオンライン配信するハイブリッド形式にてシンポジウムを開催しています。実際の事例や専門家の知見、著名な経営者の見識など、経営戦略としての災害対策をご紹介します。

事前登録は必要になりますが、参加は無料です。つきまして、以下の申込サイトから直接申込を行ってください。ご興味の有る方は是非、ご視聴いただきたく、ご案内します。

### <申込サイト>詳細はこちら

<https://kyoujinnka.smrj.go.jp/symposium2022/cover/>

**ご興味の有る方はお申込み下さい。**

### ※令和4年度シンポジウムの開催日時(全4回)

- (第1回) 人吉市 令和4年 7月20日(水) 13:30~15:00 (終了)
- (第2回) 気仙沼市 令和4年 9月 1日(木) 13:30~15:00 (予定)
- (第3回) 神戸市 令和4年10月22日(土) 13:30~15:00 (予定)
- (第4回) 福島県 令和5年 3月 1日(水) 13:30~15:00 (予定)

**商団連からのお知らせ①**

**～従業員様の弔慰金制度の財源はどのように準備されていますか～**

住友生命が2019年に実施の福利厚生アンケートでは全国1092社から回答があり、弔慰金制度の実施率は約96%でした。また、同アンケートの「弔慰金の財源手当て方法（複数回答可）」では、生命保険による手当との回答が約52%となりました。

商団連で実施している商団連グループ保険は生命保険です。災害保障特約が付いたシンプルな保障ですが、病気死亡、災害死亡のどちらでも支払い対象となり、もちろん24時間保障ですので弔慰金の財源手当てにはピッタリの制度です。

さらに、商団連独自の見舞金制度を設けており、多くのご加入者にご利用頂いております。ぜひ一度お見積りをお申しつけください。

**※令和3年度の保険金等支払い実績**

死亡保険金 7件、入院給付金 6件、通院見舞金 3件、  
入院見舞金 5件、結婚祝金 17件、出産祝金 35件、  
長寿祝金 17件

＜日本人の主要死亡原因別割合＞



出典：厚生労働省「2021年 人口動態統計月報年計（概数）の概況」より住友生命にて加工作成

商団連グループ保険は、弔慰金制度の裏付けとなる保障内容となっており、全国規模のスケールメリットで、お手頃な掛金を実現しております。

※ご加入にあたっては、必ずパンフレットをご確認ください。

**商団連からのお知らせ②**

**～「3大疾病グループ保険制度」が新規発足～**

令和4年4月1日付けで、新たに「3大疾病グループ保険（個人掛）」が皆様のお陰をもちまして発足しました。

この保険は、成人の疾病による3大死亡事由である「がん（悪性新生物）」、「急性心筋梗塞」、「脳卒中」に対する保障を行うものです。

大きな特徴は、これらの病気に罹患した場合に『生きるための保険金』が支払われるということです。

医療の進歩とともに治癒率は大きく改善し、生存率も高くなってきていますが、医療費の高騰もあり安心して治療を受けることができない方が多くいらっしゃるのも現実です。この保険は、治療と仕事を両立するうえで大きな障害となる経済的な問題を解決する一助になります。是非ご検討のほど宜しくお願いします。

※ご加入にあたっては、必ずパンフレットをご確認ください。

**全国卸商業団地企業年金基金 令和3年度収支状況**

令和3年度収支(令和3年3月1日～令和4年2月28日の年金経理の収支)

収 入	(単位:百万円)	支 出	(単位:百万円)
掛金	1,039	老齢給付費	296
資産運用収益	36	脱退一時金	124
業務会計からの繰入	30	遺族一時金	11
		業務委託費等	52
		責任準備金増加額	595
		当年度剰余金	27
合 計	1,105	合 計	1,105

全国卸商業団地企業年金基金は、卸団地で働くみなさまの退職後の所得の充実を図るため設立されました。現在、加入企業708社、加入者15,069人のみなさまにご加入いただいております。令和3年度は1,089人の年金受給者と909人の退職者に一時金等の給付をお支払いしています。また、年金資産は、令和3年度末で約32億円となっています。

**新規加入を随時受付しています  
年金制度の6つの特色**

- 1.一時金の受給ができ、退職金の事前準備にも活用できます。
- 2.税の優遇措置が受けられます。
- 3.賃確法に定める退職手当の保全措置が免除されます。
- 4.積立金の運用は、低リスクの運用を行っています。
- 5.現役世代の人口減少の影響を受けません。(事前積立方式)
- 6.柔軟な年金給付。  
年金の受給期間を選択できます。

ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。

お問合せ 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054  
〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階



## 住友生命からのご案内①

住友生命では商団連様ご加入の組合員様の福利厚生制度向上のために、さまざまな提案をさせていただいております。

### 商団連グループ保険（会社掛） 災害保障特約付団体定期保険

貴事業所の福利厚生・慶弔見舞制度として商団連グループ保険の加入をご検討願います。

#### 安心の24時間保障

業務内外を問わず保障。災害保障特約がついているので**病気死亡**のほか、**不慮の事故による障害・入院も保障**されます。

#### お手頃な掛金

スケールメリットを活かしたお手頃な掛金で多額の保障が準備できます。

#### 掛金は損金または必要経費

に算入できます。

#### 剰余金が生じた場合は配当金が支払われます

1年ごとに収支計算を行います。

### <ご契約例>

役員・従業員合計21名で試算

合計月額掛金：11,235円



事業主 63歳 男性  
主契約保険金額:500万円  
月額掛金:4,355円



52歳男性  
×5名

従業員 52歳 男性  
主契約保険金額:100万円  
月額掛金:499円  
499円×5名=2,495円



43歳男性  
×5名

従業員 43歳 男性  
主契約保険金額:100万円  
月額掛金:338円  
338円×5名=1,690円



38歳男性  
×5名

従業員 38歳 男性  
主契約保険金額:100万円  
月額掛金:300円  
300円×5名=1,500円



27歳女性  
×5名

従業員 27歳 女性  
主契約保険金額:100万円  
月額掛金:239円  
239円×5名=1,195円

■ご加入にあたっては必ずパンフレットをご確認願います。

## 住友生命からのご案内②

### 商団連共済制度<個人掛>

従業員の皆様が掛金を負担しご加入いただく保険です。住友生命から従業員の皆さまに説明させていただきます。

#### 商団連グループ保険（ファミリープラン）

- 死亡または高度障害になった場合に保険金をお支払い（安心の24時間保障）その他災害保障特約あり。
- 医師の診査は不要です。  
告知項目に該当が無ければお申込みいただけます。
- お手頃な掛金→33歳の方の掛金(月額)は  
保険金額100万円あたり**男性:276円 女性:239円**

#### 商団連3大疾病グループ保険（個人掛）

- がん(悪性新生物)・急性心筋梗塞・脳卒中になった場合※  
に保険金をお支払い（死亡や高度障害の保障はありません）  
※所定の条件に該当した場合
- 医師の診査は不要です。  
告知項目に該当が無ければお申込みいただけます。
- お手頃な掛金→33歳の方の掛金(月額)は  
保険金額100万円あたり**男性:239円・女性:256円**

#### 商団連グループ掛金（保険金額100万円の場合）

71歳以降、75歳まで継続可能

保険金額	性別	保険年齢							
		15歳~35歳	36歳~40歳	41歳~45歳	46歳~50歳	51歳~55歳	56歳~60歳	61歳~65歳	66歳~70歳
100万円	男性	276円	300円	338円	402円	499円	635円	871円	1200円
	女性	239円	276円	296円	343円	399円	457円	546円	672円

#### 3大疾病グループ掛金（保険金額100万円の場合）

75歳まで新規加入可能

保険金額	性別	保険年齢							
		15歳~35歳	36歳~40歳	41歳~45歳	46歳~50歳	51歳~55歳	56歳~60歳	61歳~65歳	66歳~70歳
100万円	男性	239円	349円	379円	536円	756円	1,129円	1,643円	2,326円
	女性	256円	441円	531円	603円	722円	841円	1,072円	1,453円

■記載の年齢は、保険年齢を使用しています。保険年齢は、契約日\*(2022年4月1日)現在の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数については切り上げて、6ヶ月以下の方は切り捨てます。(\*グループ保険は更新日に読み替えてください。)

■ご加入にあたっては必ずパンフレットをご確認願います。

## 商団連会員サポートセンターの活用をお願い

商団連では会員組合が抱える様々な課題の解決や活性化を支援するために、中小企業庁、中小機構、商工中金、全国中小企業団体中央会、顧問弁護士、不動産鑑定会社等の関係各機関と連携して、「商団連会員サポートセンター」を設置しています。現在、ゼネコンとの業務提携も進めています。会員組合の皆様にお役に立てるよう商団連も活動してまいります。

令和3年度は29件（前年度対比+19件）のご相談がありました。相談内容は、組合運営、共同事業、諸補助金をはじめ、様々な事柄に及んでいます。今回は「不動産鑑定業務の仲介」についてご紹介させていただきます。

### 不動産鑑定業務の概要(仲介)

### 組合員の皆様も活用を検討ください!!

商団連では、商団連会員サポートセンターの支援業務の一環として、不動産鑑定業務の仲介を行っています。令和3年度は不動産鑑定評価仲介のご利用が5物件ありました。

不動産鑑定の依頼をご検討している際は、商団連宛てご相談ください(担当 商団連 事務局 原田)。

### 【業務提携先】株式会社コスモシステム(業界第5位) 全国をカバーしています

東京本社：住 所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3 日本ビルディング九段別館10F  
連絡先 Tel.03-6261-2361 (担当 榎本顧問)

当社は昭和61年の創業の不動産鑑定・調査会社で、業界で第5位にランクされます。全国を対象に不動産の鑑定・調査業務に取り組み、政府系金融機関や大手銀行の他、地銀・信金等の地域金融機関からノンバンクまであらゆる金融機関の担保評価を行っている会社です。法人個人間売買や減損評価等の多様な企業ニーズにも積極的に対応しています。

【不動産鑑定評価の活用方法】 次のような様々な場面で活用されています。

#### ○団地内の物件価格の確認

団地内物件の売却や買取、組合員間の物件売買、金融事業実施に際しての客観的な不動産価格を算出する際等に利用されています。

#### ○OM&Aや事業承継

企業買収や事業承継を行う場合、その企業が保有する不動産の時価を正しく把握したうえで、評価額を算出する必要があります。この時価を算定する際に不動産鑑定評価が必要となります。

#### ○親族間や同族間での売買や交換

同族の個人間、関係会社間での不動産取引については、取引価格に恣意性があると指摘される場合があります。鑑定評価に基づく適正な価格で取引することにより、そのようなリスクが回避できます。

#### ○固定資産の減損会計処理

資産の収益性が低下し、減損会計処理を行う場合、「正味売却価額」を求める必要があり、その「正味売却価額」は、利害関係者への説明責任等の観点から不動産鑑定評価による評価額によって求めたものが望ましいとされています。

## 不動産の鑑定評価は

## 実績豊富な

## コスモシステムへ

※2021年度実績 4万件

**COSMOSYSTEM**  
株式会社コスモシステム

“全国対応” 自社スタッフで対応可能。柔軟性と短納期を実現。

拠点 札幌 / 仙台 / 東京 / 名古屋 / 大阪 / 広島 / 福岡

お問合せ：東京本社 03-6261-2361(代)

詳しくはコチラ



**北から南から****～会員組合の皆様の情報をお届けします～****「問屋町SDGs宣言」 協同組合 青森総合卸センター**

当組合では「問屋町SDGs宣言制度」を新設し、6月末時点で26社の組合員が宣言しました。同制度は、組合員がSDGs達成のために「現在取り組んでいること」や「これから取り組むこと（1年以内）」を宣言してもらい、宣言書を社内に掲示するものです。

宣言内容は、「冷熱貯蔵技術向上に貢献してフードロス削減します」や「バイオマス食器・エコウッド容器等環境負荷の少ない非プラスチック商品の販売促進に取り組みます」等、本業を通じた取り組みに加え、「定期健康診断を全従業員に受診させます」、「会社から出るごみのリサイクル分別を徹底します」等、日頃の自社の取り組みがSDGs17のゴール達成に向けた取り組みとして該当することも数多くありました。

問屋町SDGs宣言企業及び宣言内容は、組合HP内の特設ページで紹介しています。是非ご覧ください。

**「組合会館新築のお知らせ」 協同組合 長崎卸センター**

昭和50年に組合を設立してから50年が経過し、50周年を記念して組合会館の建替えを行いました。約1年ほどの工期を経て、昨年暮れに建物が完成し、駐車場整備等を経て、本年4月にプロジェクト完成の運びとなりました。

会議室は4室(展示場併用可能)のみとし、旧会館の三分の一の床面積となりました。余った面積は駐車場用地と活用しています。4月以降は新しさもあり、員外利用も含めて好調な利用状況となっています。

令和4年10月14日に50周年記念式典をヒルトン長崎での開催に向け、鋭意準備を進めています。九州ブロックの会員の皆様にはご出席方ご案内を予定しております。何卒よろしくお願ひ申し上げます(笠瀬専務理事談)。

**「中古機械展示場のご紹介」 大阪機械卸業団地 協同組合**

**日本経済新聞(6月16日)に掲載**

当組合は「ものづくりの街東大阪」に概ね100社の企業が集まり工作機械、機械工具から機器、鋳螺、部品まで生産現場のニーズにあった商品を幅広く提供する一大集積地となっています。展示場は50年前に開設され、約5千㎡のスペースに多い時で1千台を超える切削、研磨、プレスなどの機械が並んでいます。

特に中古機械市場では、機械工具入札会を年4回開催し、毎回3千点以上の商品が出品され大変多くの人で賑わっています。入札会は最高値をつけた人が競り落とす方式で、掘り出し物を見つけるチャンスとなっています。

また、機械・工具などをお探しの方に対し、他の業界団体と協力して、中古機械情報ネットワークの「マシンライフ」を立ち上げて、中古機械などの在庫情報を発信しています。

**商団連からのお願い 「機関紙 商団連」に記事を書かせませんか?**

商団連では、「機関紙 商団連」の次号(令和5年新春号)以降も、会員組合の皆様の記事を掲載していく予定です。

団地内トピックス(例えば、周年行事開催、組合会館落成、地元新聞での団地組合紹介、特徴のある共同事業、地域貢献の取り組み等)があれば、商団連事務局までお知らせください。是非ご協力のほど宜しくお願いします。

**祝 組合創立50周年(南東北総合卸センター協同組合)**



組合創立50周年記念式典が令和4年3月24日(木)郡山ビューホテルアネックスにおいて開催されました。

式典では、佐藤善彦理事長の式辞に続いて、創立周年記念ビデオの上映が行われ、その後、品川萬里郡山市長や滝田康雄郡山商工会議所会頭はじめ多くの来賓祝辞がありました。

続いて、中小企業庁長官表彰、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長表彰、全国卸商業団地協同組合連合会会長表彰をはじめ、永年にわたり組合活動に功労のあった方々の表彰があり、式典は盛会のうちに終了しました。

**○組合功労者表彰を受賞された皆様** (敬称略、順不同)

中小企業庁長官賞	齊藤 久之丞 (顧問) 佐藤 善彦 (理事長)
中小機構理事長賞	安部 信幸 (顧問) 清野 政幸 (副理事長) 初瀬 照夫 (常務理事)
商団連会長賞	森 一彦 (副理事長) 岡部 弘幸 (副理事長) 藤田 弘美 (常務理事) 山口 哲行 (常務理事)



挨拶される佐藤善彦理事長



組合功労賞の授賞式

**商団連スケジュールのお知らせ**

**ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。**

**○全体**

日付	内 容	会 場
令和4年 9月 8日 (木)	第2回事務局長会議(幹事:(協)長野アークス)	長野ホテル犀北館
令和4年11月14日 (月)	トップセミナー(商工中金共催)	KKRホテル東京
令和5年 1月18日 (水)	新年賀詞交歓会及び新春セミナー	ホテル雅叙園東京
令和5年 3月 6日 (月)	福祉共済会幹事会	商団連会議室
令和5年 3月 7日 (火)	第3回事務局長会議	全国町村会館

**○ブロック会議**

日付	エリア	幹事団地
令和4年 9月21日 (水)	北海道ブロック会議	(協)札幌総合卸センター
令和4年10月18日 (火)	中部ブロック会議	(協)富山問屋センター
令和4年10月25日 (火)	中四国ブロック会議	(協)福山卸センター
令和4年10月27日 (木)	九州ブロック会議	沖縄県卸商業団地 (協)
令和4年11月16日 (水)	近畿ブロック会議	大阪船場繊維卸商団地 (協)
令和4年11月25日 (金)	東北ブロック会議	(協)盛岡卸センター
令和4年12月 7日 (水)	関東ブロック会議	(協)川越バンテアン

令和3年度のブロック会議はWeb方式で開催しましたが、今年度は3年振りに参集しての会議を予定しております。

**金融を超えて、何ができるか。**

PURPOSE  
企業の未来を支えていく。日本を変化につよくなる。



本店 03(3272)6111 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-10-17

